**第６回 滋賀ＹＭＣＡ インターナショナル・チャリティーラン2020**

**第１回実行委員会議事録**

開催日時　　2021年5月7日（金）　19：00～21：00

開催会場　　ZOOMオンライン

司　　会　　竹内秀和

**出席者：　●出席　　○欠席**

|  |  |
| --- | --- |
|  | 委員名 |
| 八幡Ｙｓ | ●安田博彦　　　　　●西川　允 |
| 彦根Ｙｓ | 〇外海清圭　　　　　●林　宏一　　　　〇宮本年博 |
| シャトーＹｓ | ●正村曉子　　　　　〇西川裕介　　　　〇杉山　満●金澤芳夫　　　　　●河口裕亮 |
| 長浜Ｙｓ | 〇江畑明　　　　　　〇松山利喜雄 |
| 蒲生野Ｙｓ | 〇東　康彦　　　　　〇管井恵子　　　　●三原茂靖（オブザーブ） |
| 高島Ｙｓ | ●牧　賢範 |
| 事務局 | ●久保田展史　　●竹内秀和　　●西堀えみ里　●大黒真佐実 |

**敬称略**

**①開催についての協議**

* 開催について、会場について説明がなされた。9/26は希望が丘の陸上競技場工事に伴い、今まで利用していた方法ではなく、中央道と芝生を利用しての開始となる。
* 開催時期（9/26）はYsイベント等が忙しいため、協力体制ができるかが課題である中、YMCAが９月２６日に設定された経緯はどうなっているか質問があった。

　　　**回答**⇒　通年通り５月に行う場合はYMCAの新年度開始時期であるため、ボランティア・の確保、会員への周知が難しい、また季節的な課題もあるため９月を設定させていただいた。

**提案**⇒　リーダー体制も踏まえた時期で別の月で行うのはどうかと提案があった。

リーダートレーニングの問題で週末が入っている。（１１月１２月は難しい）

**②過去チャリティーラン報告（他YMCA2020の開催事例）**

* バーチャル（Web上）で開催したYMCAの事例を紹介。評価としては、バーチャルではなく会場での実施が望ましいとされていた。運営方法などにも課題があった。
* チャリティーランの趣旨である、障がいのある子どもたちを支援するプログラムであるため、どのような方法（会場での実施、バーチャルでの開催）でも行う必要があると意見をいただいた。
* 可能であれば、出会いふれあいできるイベントを大切にしていくべきであるが、コロナ感染対策も十分にしなければならない。また、その時期に様子によっても対応していかなければならないと思う。
* 滋賀YMCAから過去の結果など現状報告を行った。

**全国の開催状況を聞いてのご意見**

* 安田：　コロナの現状を考えると現場での実施は難しいのではないか。

　　　　　　コロナだからオンラインではなく、オンライン開催によって全国からも参加できる考えで企画してはどうか。

* 協賛を集める今の時期がコロナの感染のことを考える人が多いため、協賛を集めるのが難しいのではないか。
* 障がいのある子どもにやはり、今だからこそ子どもたちが活動できる場所・居場所が提供できるように支援する必要がある。そのためにもチャリティーランとして協賛金を集める必要がある。

協賛金を適度な金額（運営費・支援金）をそれなりの金額を集めることも大切なのではないか。

* 運営にあたって⇒　現場実施で行う場合は開催時期の再検討が必要。どこの日程が取れるのかを再検討しなければならない。またコロナの関係で中止の判断をいつするかも考えなければならないのではないか。

　　⇒　YMCAとしては２月であれば２７日、３月１３日頃。募集の時期も考えると２月の終わり頃でないと難しいのではないか。

　　⇒　会場が取れるかどうかで、オンラインにするか他会場を検討するかを検討するのがよい。

**２月２７日（日）を候補日としてあげ、会場へ確認を行う（担当：久保田）**

　　　　　　　　**結果：　２月２７日（日）会場予約可能、交渉済み**

**③次回実行委員会　　６月１１日（金）１９：００～　　ZOOMオンライン**

全国YMCAチャリティーラン担当者会が６月７日予定されています。